

2011~2012年度 第2660地区 DDFシェア会議報告

ロータリー財団委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日時：2012年2月9日(木)

場所：G事務所会議室

出席者：岡部泰鑑G、ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、高島凱夫GE、宮里唯子次年度地区財団FVP委員長、古澤照明地区国際奉仕・WCS委員長、川上大雄地区社会奉仕委員長、福家宏地区財団委員長、溝畑正信地区財団副委員長、杉村雅之地区財団情報・増進委員長、川田隆地区財団人道的補助金委員長、牧尾晴喜地区財団奨学金・学友委員長、小林哲次年度地区国際奉仕・WCS委員長、初木賢司次年度地区社会奉仕委員長、吉川仁育次年度地区財団人道的補助金委員長、北埜登次年度地区財団奨学金・学友委員長、田中義久次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-13年度地区代表幹事、山田正雄2013-14年度地区代表幹事

シェア・システムShare System ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF（地区財団活動資金）、50%がWF（国際財団活動資金）に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらにDDFとWFには通常は恒久基金の投資収益の50%が加算されます。このような仕組みをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議 2013年-2014年度に配分される新規DDFは2010-11年度の年次寄付と恒久基金投資収益、それぞれの50%です。この金額のさらに50%が新地区補助金となります。残りの50%に前年度（2012-13年度）の繰越金を加えた合計金額が2013-14年度に新地区補助金以外の部分で利用可能なDDFということになります。2年先の2013-14年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が開催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会からご帰国されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額 2010-2011年度の年次寄付

の50%は358,960.48ドル。（これに恒久基金の利息の50%が付加されますが、金額が未報告）新地区補助金の授与額は恒久基金の利息の50%を加えるとほぼ18万ドル程度になるものと考えられます。新地区補助金以外に配分可能なDDFは2012-2013年度の繰越金額106,274.41ドルを加算しますと、29万ドル程度と予測されます。

岡部G 今回のDDFシェア会議はFVPの実施年度のDDF配分を決定するという重要な会議となりますが、この会議が有意義なものとなることを期待致します。

高島GE 1月14日に出発し、16日～21日まで国際協議会に参加してきました。田中作次氏が日本人で30年ぶりのRI会長エレクトとなられ、開会の国歌は米国、インドの国歌に続き「君が代」となりましたのでカ一杯歌いました。田中作次次年度RI会長のテーマはPeace through Service「奉仕を通じて平和を」です。以下、田中会長エレクトは次のようなメッセージを寄せられました。『この平和は戦争に対する平和闘争と言うようなことでは無く、一人一人が穏やかな心で奉仕することで平和を築いて欲しいというコンセプトです。日本人には自分よりも他人のニーズを優先するという優しい心があり、この心を生かして奉仕を実践しましょう』『次年度はベルリンとホノルル、広島で平和フォーラムを開催します』とのことで、特に若い人々の多数の参加を求めておられます。会員増強についてもお話があり、日本のロータリアンの減少をカルヤン・バナジー会長とともに憂いておられ、2015年には世界のロータリアンを130万人にまで増やしたいとのご意向を示されました。

ポリオ撲滅関連について①ロータリー2億ドルのチャレンジは1月中に2億620万ドルに達したこと②ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がこれにこえて5,000万ドルの追加補助金を拠出したこと③インドで昨年1月13日以後、ポリオの新規発症ゼロが記録されたことをご報告されました。

DDF配分協議 溝畑次年度地区財団委員長、宮里次年度地区財団FVP委員長、財団部門地区4委員会各委員長（GSE委員会は副委員長）、及び古澤地区国際奉仕・WCS委員長、川上地区社会奉仕委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。

①地区もクラブもチームを組んでFVPを推進しては

どうか

- ②クラブ財団委員長の役割は寄付金集めではなく、財団プログラム推進と並行すべき
- ③地区財団部門各委員会がこれまで積み上げて来た経験的知識は豊富で、これを是非とも生かして、あまり臆することなく当地区が国内でリーダーシップを発揮出来るくらいのことを考えて欲しい
- ④地区国際奉仕・WCS委員会、地区社会奉仕委員会、地区財団人道的補助金委員会は地区財団FVP委員会と情報を共有し、コンセンサスを基に協力し合いながら活動することが必要
- ⑤新地区補助金の配分ルールは、1人当たりの年次寄付額により按分するという考え方も必要
- ⑥人道的プログラムについては着手し易いが、奨学金、職業研修については一定のルール作りが課題
- ⑦月に1回程度、地区財団FVP委員会と財団部門、奉仕部門委員会は合同委員会の開催が必要
- ⑧地区としてFVPに向けて進行のスケジュールを早期決定すべき
- ⑨奨学金については問題山積。新地区補助金利用の奨学金の場合、地区で選考した奨学生とクラブ主導でクラブが選考した奨学生の間での整合性の問題は簡単ではない。地区財団奨学金・学友委員会単独では何も決定出来ない
- ⑩地区財団人道的補助金委員会としては次年度地区補助金は既定の通り56,000ドル、次々年度は16万ドル程度を考えている
- ⑪地区国際奉仕・WCS委員会としてはクラブに予算規模の大きなプロジェクトを立案してもらい、FVPに繋げていきたい
- ⑫今後も東日本震災復興支援を積極的に進めたい。支援方法については十分検討する

横山PG（財団部門顧問） 今年度、次年度の活動やDDF配分はよしとして、今日は次々年度をどうするかということが重要です。パイロット地区であるD2690の鳥居滋地区財団委員長は今年度国際協議会の研修リーダーを務められた方ですが、鳥居氏は『グローバル補助金の利用は現段階では困難と言わざるを得ない。地区やクラブに海外プロジェクトの企画力と交渉力を兼ね備えたロータリアンが居ないことにはロータリー財団のコーディネーターと交渉を進めるのは容易ではない』『従来の

マッチング・グラントとは比較出来ないほど提案から申請、承認、事後監査のプロセスが困難』と言われています。D2690では慎重を期して当面は地区内プロジェクトを中心に新地区補助金利用を主に活動されるとのことです。当地区もこれから先、パイロット地区の様子をよく検討しながら進めていくという慎重姿勢が必要でしょう。

福家地区財団委員長 例年であれば1月末から2月の初めには、ロータリー財団より次々年度当地区の利用可能なDDFのデータがシェア・キットとして送付されてきますが、今年は6月になるらしく詳細な金額は不明のままの会議となりました。さらに、今後FVP実施までに制度に変更が加えられる可能性を含めて不確定要素が大きいため、今回は2013-2014年度のDDF配分の実数については寄贈分野のみを決定するに留まりました。従来のように、地区補助金に何ドル、マッチング・グラントのためのDDFに何ドル、奨学金に何ドルという配分を決定してしまうと、後に変更を迫られることになり、却って混乱を招くので得策ではないという判断もありました。

寄贈分野については、平和フェローに25,000ドル、ポリオ・プラスに40,000ドルと決定致しました。

横山顧問PGより

- ①岡部年度基本方針を評価
- ②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき
- ③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき
- ④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにすべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定 これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、P8表の通りです。

高島GNより 2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にしていきたいと考えている。上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2012年2月9日シェア会議

ロータリー財団委員会

単位: US\$

	2011-12年度予算	2012-13年度予算	2013-14年度予算
前年度DDF繰越額	194,577.46	162,635.49	106,274.41
TRF新規DDF配分額	279,558.03	280,138.92	358,960.48
DDF利用可能総額	474,135.49	442,774.41	465,234.89

配分・分野	2011-12年度予算		使用見込み		2012-13年度予算		使用見込み		2013-14年度予算		使用見込み			
〈人道的分野〉												〈新地区補助金〉\$180,000.00		
地区補助金	50,000		55,000		56,000		56,000		人道部門					
WCS MG	65,000		65,000		100,000		100,000		奨学金					
〈教育的分野〉	奨学生@26,000				奨学生@27,000				VTT*					
国際親善奨学生	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	4名	108,000	合計①					
〈プログラム強化〉												〈1/2DDF+50%PFE+前年度繰越金〉		
GSE語学研修	2,500		2,500		2,500		2,500		GG*用					
GSE派遣					5,000		5,000		奨学金					
〈寄贈分野〉												VTT*		
ロータリー平和フェロー	0		25,000		25,000		25,000		〈寄贈分野〉					
ポリオ・プラス	86,000		86,000		40,000		40,000		平和フェロー	25,000				
分野別・配分総額	411,500		311,500		417,500		336,500		ポリオ・プラス	40,000				
次年度への繰越予定額	62,635.49		162,635.49		25,274.41		106,274.41		その他	0				
												合計②	65,000	
												配分総額	65,000	
												次年度への繰越額(予定)	400,234.89	

* VTT = Vocational Training Team (職業研修チーム)

* PFE = Permanent Fund Earnings (恒久基金収益)

* GG = Global Grants (グローバル補助金)